

「日本銀行 大阪支店」の見学会を実施しました!!

日本複合・防音床材工業会では、資材流通委員会主催で工業会の正・賛助会員を対象に各会員様の事業経営の参考となるべく、各種見学会を企画・開催しております。

今回は、大阪市北区中之島にある「日本銀行大阪支店」の見学会を実施致しました。

- 日 時：12月15日(木)
第1回 10:00 ~ 11:00 第2回 13:30 ~ 14:30
- 場 所：日本銀行大阪支店 大阪市北区中之島2-1-45 TEL: 06-6206-7742
- 見学者：17名
- 条 件：工業会の正会員及び賛助会員（見学は無料、現地集合・現地解散）



1. 概要

明治15年(1882年)12月開設後、140年を迎える日本銀行大阪支店を訪問し、日本銀行の役割や業務内容について解説を受けるとともに、歴史的建造物(旧館)、資料を観覧しました。旧館の奥にある新館では、お札の発行、金融機関や国のお金の受払、損傷銀行券の鑑定など職員約300人が業務を行っています。



外観(HPより)



営業場(新館)(HPより)

2. 旧館

堂島川と土佐堀川に挟まれた中之島の御堂筋沿いに残る旧館はベルギー国立銀行をモデルにしており、1903年明治を代表する建築家辰野金吾の設計により建設されました(地上2階、地下1階)。老朽化等のため取り壊しの予定であったものの、大阪市民や文化庁の強い保存要請を受け1980~1982年改築工事が行われました。外観や頂上部の鉄骨ドーム等は当時のものを保存・改修して使用しています。緑青が美しいドーム屋根や外壁など重厚な外観は歴史を感じさせるものでした。



【記念室】

かつて貴賓室と呼ばれていた応接室を復元しています。チーク材を使用した壁、扉、ステンドグラス、マントルピースは当時のものがそのまま使用されています。ドーム型屋根の真下に位置する記念室は壁面の彫刻も素晴らしく、非常に高級感のある部屋でした。



【階段室】

階段室は、正面内玄関と階段を旧館建設当時の部材を再使用しながら復元している部屋です。階段は柱を用いず、アーチを用いて重量を支える構造となっています。手すりや欄間のほか、梁や柱にも精密なデザインが施されており、大変見応えのあるものでした。



【資料展示コーナー】

資料展示コーナーでは「大阪支店の歩み」と「大阪支店の業務」の2つのブースが設けられ、日本銀行大阪支店の歴史や役割についての資料が展示されていました。銀行券の偽造防止技術の紹介ではホログラムやマイクロ文字など、さまざまな防止技術が使われているとの解説を参加者は関心を持って聞いていました。

※写真は40億円(東封)の模擬券

※日本複合・防音床材工業会では会員を対象に適宜、展示場や工場見学を実施しています。